

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2022  
12

2022年11月 第255号



ザンビアで建築中のセカンダリースクール(ザンビア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

早いもので2022年もあと僅かとなりました。世では年末、また年始に向けてと様々なお祝い事が続く時期となりましたが、その一方で日々の生活すら困難な子供達も大勢いることは確かです。

いまだ続くロシアとウクライナの紛争、そして台湾をめぐるアメリカと中国の緊張、日本は安全かといえば、そうではないかもしれません。一度事が起これば弱い立場である子供達に被害がいきます。

日本は世界の中ではまだ平和です。この平和の内に一人でも多くの子供達を助け、またさらに多くの子供達を助けることができるよう様々な備えをする必要を覚えてしかたありません。

また、このところの物価の上昇は、日本だけでなく世界規模と言ってもいいかもしれません。私共の各孤児院も、さらに運営費を、と云ってきますが無理からぬことでしょう。皆さまの御支援はそのまま子供達の命の支えとなっています。

是非今後とも、皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 北野 直人

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。このニュースレター一紙面でも数回記していました孤児院活動の為の更新手続きは、10月いっぱいにて終了することが出来ました。毎回1年以上はかかるこの更新手続きが、今回は数ヶ月で終わりましたので、本当に助かりました。

中途から転校をした2人の子ども達は、11月始めに再度進級試験を受けることになりましたが、無事に合格することが出来ました。

他の子ども達も、後期試験の結果が出て全員が次の学年に進めることがわかり、皆で喜んでいました。

職業訓練生達は、2人がさらに継続して学びを続ける必要があり、手続きを取りました。

もう1人は働きながら学ぶという形で、研修期間を過ごしています。

1人1人の新しい歩み出しに、良い結果が伴うようにと願っています。皆様からの温かいご支援とご協力を、本当に感謝致します。



進級出来ることがわかり、  
子ども達は休みに入っのびのびと過ごしています

## フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援とご協力を心から感謝致します。

子どもたちは10月末から5日間の学期の中休みがあり、リフレッシュしてまた通常授業に戻っています。週3日だった学校での対面授業が、11月からは週5日になりました。感染防止対策を取りながらの学校生活ですが、最近は突然の雨が頻りに降るため、咳や風邪が流行っているため、子どもたちの誰一人として、どんな病気にもならないようにと願っています。

今年度(2022年-2023年)の学費及び学用品費として6,209.82ドル(約92万円)が必要です。

このために皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

長年に渡り礎の石孤児院、特にフィリピンの働きを支えて頂いて、心から感謝しております。

皆様のご支援無しにはこの働きは出来ません。

子どもたちの将来を希望あるものとするために、引き続き皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。



学校行事も感染防止対策を取りながら行われています

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心より感謝申し上げます。ザンビアはようやく雨期に入りました。

現在、1月に開校予定の中高等学校の建設を急ピッチで進めています。学校として開校するためには、7人の教員の確保(月額約20万円)、PC×15台(約40万円)、化学実験室(約70万円)、給食室及び食器等(32万円)、教材費(約20万円)、制服×20着(12万円)、給食費(月額×10人3万円)、文房具(月額×10人4万円)、机椅子等(76万円)、学校事務用品(月額9万円)合計285万円が必要となりますが、現在のところ確保されていません。

今週、7年生たちは小学校卒業のための全国試験を受験に行っています。この試験に合格するためにこの一年、休日を返上して勉強をしてきました。

私たちの学校に受け入れられるまで、ほとんど学校に通ったことのない孤児たちが、猛勉強して数年の遅れを取り戻し、この試験に臨んでいます。

どうかこの子たちが継続して勉強を続けていけるよう、緊急のご支援を心よりお願い致します。



小学校の卒業式です

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。

ブラジルではいま春から夏に移行する時期です。急に暑くなると、その後は雨が降って涼しくなり、天候というのはバランス良く成り立っているのだと祈るばかりです。

ブラジルは先月30日に大統領選の第二次選挙があり、労働党の元大統領ルーラ氏が、追い上げる現職ボウソナー口氏を僅差で破り、再選を果たしました。貧しい階層の出身の方なので、医療や福祉面が改善されるように期待しています。

先日は礎の石孤児院でアニメーションを制作する企画があると話を聞きました。その方面は全くやったことがないのですが、もしアプリやソフトがあれば、背景作りのお手伝いくらいはできるかなと、何だかワクワクして楽しみにしています。

さて、支援している市内の児童就学支援施設の新学期がスタートしたようで、レクリエーションの写真を送っていただきました。柔道と色塗りのクラスだそうです。

皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願い致します。



児童養護施設の様子